

御 札

6月14日より15日まで当寺祠堂経会を催したところ、お忙しい中、本当にたくさんの方々にお参りをいただきました。ありがとうございます。そして厚いご懇念、開催懇志金をお運びいただいたこと心より感謝申し上げます。

皆さまにお運びいただきました御懇志金は大切に常入寺の維持管理のため、そして仏法興隆のために使わせていただきます。今後とも常入寺維持運営にご協力いただきたくお願い申し上げます。

常入寺住職 青井和成

Coronews
だごぼぼは
よりん

夏休み期間は
常入寺子ども月間

今年も常入寺では子ども月間を開催します。
お寺のものがお参りに来たとき、
中学生以下の子ども達がいっしょにお参りをした
ら、ごほうびをあげるよ！
ごほうびといってもたいしたものではないけどね、
風船と文具をあげます。
この機会に仏様の前に座っていっしょにお参りしま
せんか？
みんなが仏様にお参りするとお坊さんも、そして仏
様もうれしくなります。

今日のことば

一億一心は戦争
一億億心は佛法

念仏者 池田勇諦
西恩寺発行「聞法日めぐりII」より

秋季彼岸会

日時 9月27日(日)午後1時30分より3時30分まで
お説教(歌) 鈴木君代さん(シングソングライター・浄土真宗僧侶)
参加費 無料(ただし、お費銭(100円から1000円)のご協力を無理のない程度でお願いします)

京都のライブハウスで活躍される鈴木さん。約30年前に初めてお寺で歌われたのが当寺でした。久しぶりのお越しをお楽しみに。

お一人で静かに、あるいはご家族の皆さまで、どうぞゆっくりお読みください。

しどうきょうえ
photo すけっち



「バラバラ」だからこそ、「一緒」を生きられる

昨年六月に亡くなられた、当寺の住職が大学時代に幾度もお話を聞かせていただいた池田勇諦先生。先生は、ご著書『聞法日めぐりII』の中で「一億一心は戦争、一億億心は仏法」という言葉を残されています。一億人がたった一つの価値観や信仰に染まり、同じ色に塗りつぶされてしまう状態。それは個々の尊厳を奪い、異質な他者を排除する歩み、つまり「戦争」へとつながりかねません。これに対し、仏教が目指すのはその真逆の地平です。一億人がいれば、そこには一億通りの尊い人生があり、一億の異なるところがあります。それらが互いを否定することなく共存する姿こそが、先生の言われる「一億億心」の世界です。

私たちは、家庭や学校、社会の中で、つい「みんな同じ」であることに安心を求め、そこからはみ出す人を冷ややかに排除しようとしてしまします。しかし、お釈迦さまが説かれたのは、同調圧力によって誰かを型にはめる世界ではなく、「誰もがそのままで尊い」という、阿弥陀如来の広大な光に照らされた世界でした。まるで、春の境内に咲く桜が、一本一本異なる枝ぶりで、それぞれの命を精一杯に咲き誇らせているように、私たちは一人ひとりが違ったままでいいのです。自分の色を無理に変えて周りに合わせる必要もなければ、自分と違う誰かの色を否定する必要もありません。「バラバラのままで、一つの大地に、共に、頭を下げて生きていく」この違いを認め合い、お互いの存在を尊び合える心

のひとりこそが、本当の平和(仏法)のはじまりです。日々の生活の中でつい見失いがちになるこの理念を、いつでも心に留め、バラバラのままでも共に歩む温かな世界を、私たちも生涯忘れることなく大切にしていきたいものです。



「あとがき」★私事です。が、先日6月4日から6日まで短期入院し、不整脈を治すための「アブレーション治療」を受けました。実は4月に治療する予定でしたが、風邪をひいて延期になったというものです。心臓の治療ということもあり、まだ本調子ではなく疲れやすいため、お参りの際などに皆様へご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご容赦ください。おかげさまで不整脈は良くなっている気がします。◆今年の夏は近年のように暑いのではないかと予報が出ています。皆様、無理は禁物ですよ。畑仕事や庭の手入れも涼しい時を選んで行ってください。ね。♥当寺の彼岸会を皆様御華でも地無事終了させていただきます。アツカリはだめと言ってはいます。が、圧壊するものですよ。ね。といたながら9月開催の彼岸会の準備を始めています。皆様どうぞお参りに来て下さい。お寺はお参りに来ていただく意味があります。よろしくお願いたします。

発行 真宗大谷派 常入寺
電話 930-0161 富山市東老田787
住職携帯 (076) 436-0816
発行責任 青井 和成
090-3764-3983
LINEはこちらから↓
お参りの変更
法事の相談
その他
ちちのからいんちん

